



NOHARA

Link ideas. Build future.
思いをつなげ、未来をつくる。

報道関係者 各位

2020年9月17日
野原ホールディングス株式会社
VDCカンパニー

Matterport Pro2 3Dカメラの正規代理販売を開始 ～4K360度 3D スキャンでコロナ禍のバーチャルツアー需要に応える～



野原ホールディングス株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：野原弘輔）のVDC(Virtual Design & Construction)カンパニーは、建設業界における実空間(工事現場を含む)の3D空間データの利活用を普及させるべく、2020年8月に、実空間の3Dスキャンカメラ「Matterport Pro2 3Dカメラ」(米国Matterport社製、以下「Pro2 3Dカメラ」)のリセラー(正規販売代理店)となりました。Matterport(マーターポート)はWebブラウザで簡単に見られて、画像や動画など理解に役立つタグ付けが可能のためECでの利用や、コロナの影響で集客が困難なイベント、不動産、建設業界など様々な分野・業種での利用が増えています。

弊社は、9月1日からは販売サイトでのPro2 3Dカメラの販売を開始(振込による代金支払も可能)、今後は購入後のアフターフォローメニューの充実も予定しています。私たちは、次の時代の建設業界を見据えて、お客さまとともに業界内のデジタル化、プロセス変革を進めます。

▼Pro2 3Dカメラの販売サイト「Matterport VALUE ADDED RESELLER」

<https://www.matterportreseller.com/>

Matterport Pro2 3Dカメラとは

Matterport社(米国)のMatterport Pro2 3Dカメラ(※1)は、実空間の写真(画像)撮影と3D赤外線スキャンが同時にできます。両データはクラウド上で短期間に合成され、高機能な撮影データとして「マーターポートクラウド」(カメラ購入者向けサービス)を通じてWeb上に公開することができます。

(※1)現時点では、Matterport社は日本向けのネット販売をしていません。



Pro2 3Dカメラ	高画質、実空間とほぼ同じ距離感、臨場感を再現した撮影データ
4Kカメラ (下方向、正面、上方向)	(実空間の写真/4K、360度のパノラマ静止画)
3D赤外線深度センサー	(3Dデータ/点群データで距離などを反映)

BIMを導入または導入予定の設計事務所、ハウスメーカー、ビルダーにおススメする理由

建設業界における実空間(工事現場を含む)の3D空間データの利活用は、関係者の情報の平準化、工期短縮に有効です。Pro2 3Dカメラでの撮影で生成される3D空間データには、3Dモデルデータ(objファイル)が含まれます。3D CADだけでなく、今後、国内で加速度的な普及が見込まれるBIM(※2)との

連携も容易です。弊社は、「住」に関わるビジネスプロセスの効率化のため、Pro2 3D カメラの販売に加えて、建設のプロならではのアフターフォローを充実させていきます。

(※2)BIM (Building Information Modeling/ビム)とは、3Dの建築モデルを使って、建設プロジェクトにおける設計情報と建材や設備の属性情報を一つのデータに集約管理するソリューション。

Matterport VALUE ADDED RESELLER (https://www.matterportreseller.com/)		
ご利用メニューの説明		費用(税込)
Pro2 3D カメラの購入	フォーム入力による購入申込、メーカー保証期間1年	¥492,000
カメラ以外のアクセサリ購入(スターターキット)	三脚、キャリーバック ※Matterport社が推奨するもの	¥55,000
マターポートクラウドのご案内	25件分の撮影データのクラウド保存、操作可能な5ユーザーアカウント登録が可能	¥8,800/月
アフターフォロー	撮影方法のトレーニング(約1時間のオンラインレクチャー) ※今後、ステップアップ編も予定	無料
活用事例の紹介	建設業界での3D空間データの活用事例を紹介	-
プログラム開発	3Dデジタルツインクラウド、EC&AR等の開発を請負可能	要相談
撮影サービスのご案内	空間360度撮影サービス「INTO」(イント)のご紹介 https://www.into-3dscan.com/	-
期間限定メニュー	9月末までにPro2カメラとスターターキットをセットでご購入いただける場合、合計金額から40,000円を値引き	¥507,000

(注記)費用に送料は含まれません。振込による代金支払いも可能です。

3D空間データ | 高まる建設業界での需要

Pro2 3D カメラによる3D空間データ(撮影データ)は、実空間の距離感や臨場感のあるデータが作成されるため、モデルルーム/ハウス、住宅、ホテルや商業施設だけでなく、寸法や状況確認が重要な工事現場での需要が高まっています。弊社の空間360度撮影サービス「INTO」(2020年1月よりサービス開始)では、これまで住宅展示場を中心に180件以上の物件を撮影しています。

■3D空間データ_建設業界のプロセス変革につながる利用例

- ・現場確認:現場に全員が集まらなくても、遠隔で実施可能。移動コスト(時間、費用)のカット、工期短縮、働き方改革、作業員同士のソーシャルディスタンス確保にも有用。
- ・施工証明:工程ごとに記録することで、リアルな施工証明の役割を果たす。
- ・施工実績のアーカイブ:デジタルデータなので保管場所にも苦慮しない。
- ・バーチャルショールーム:遠隔での集客が可能。自社資産のデジタル化にも有用。

VDCカンパニーについて

VDCカンパニーは、建設業界でBIMをはじめとするデジタル技術を取り入れたVirtual Design & Constructionを推し進めるために、野原ホールディングス内に2016年に組織化された社内カンパニーです。設計事務所やゼネコンのお客様を対象として、設計、施工、維持管理などに関する情報の一元管理を可能にするBIMを活用したコンサルティング事業を行っています。

野原ホールディングス株式会社について

野原ホールディングスを中心とする野原グループは、建設業界を中心に建材や鉄鋼関連、セメントなどの資材販売、道路交通標識などの販売・施工を通して事業を拡大してまいりました。

私たちは、2020年8月より掲げる新ミッション「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のもと、これまで培ってきた知見をさらに磨き、未来につなげていくことで、より一層社会に貢献して参ります。<https://nohara-inc.co.jp>

【Pro2 3D カメラに関するお客さまからの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社 VDCカンパニー
E-Mail: matterport-sales@nohara-inc.co.jp

【本リリースに関する報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社 社長室(担当:齋藤、青木)
TEL: 03-6328-1576



Link ideas. Build future.
思いをつなげ、未来をつくる。